

2014-11-10

規制改革会議

女性の活躍推進のための 働き方改革

公益財団法人 21世紀職業財団 会長
岩田 喜美枝

女性の活躍とは

1

仕事と育児等の両立ができる

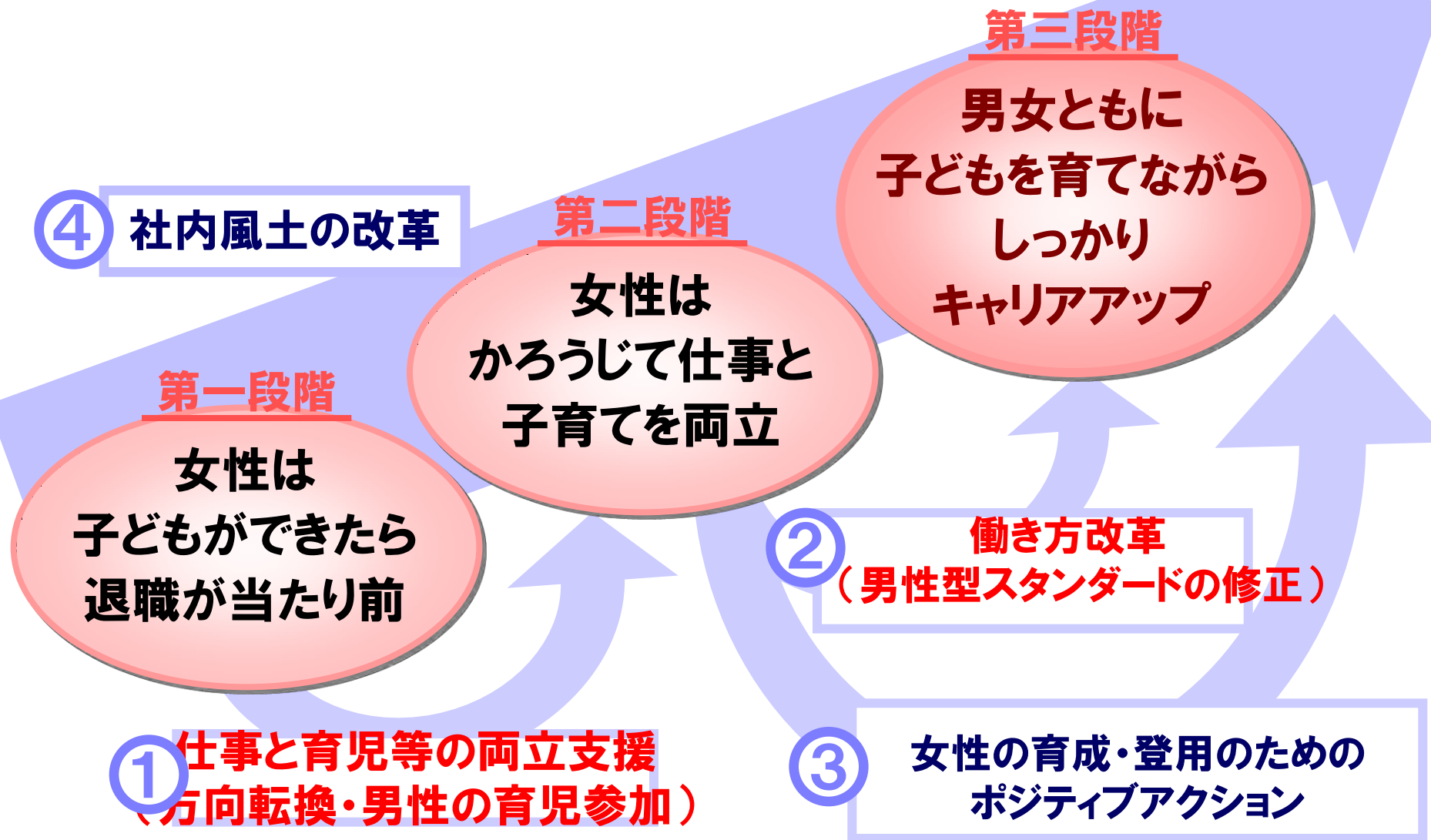
第一子の出産で6割の女性が仕事を辞める
→仕事が継続できるようになる

2

キャリアアップができる

管理職の女性比率は1割、役員の女性比率は1%
→管理職、役員として活躍できる

女性の活躍の3段階と企業の課題



①仕事と育児等の両立支援：これからの課題

両立支援策の質の転換

育児支援-----→仕事支援

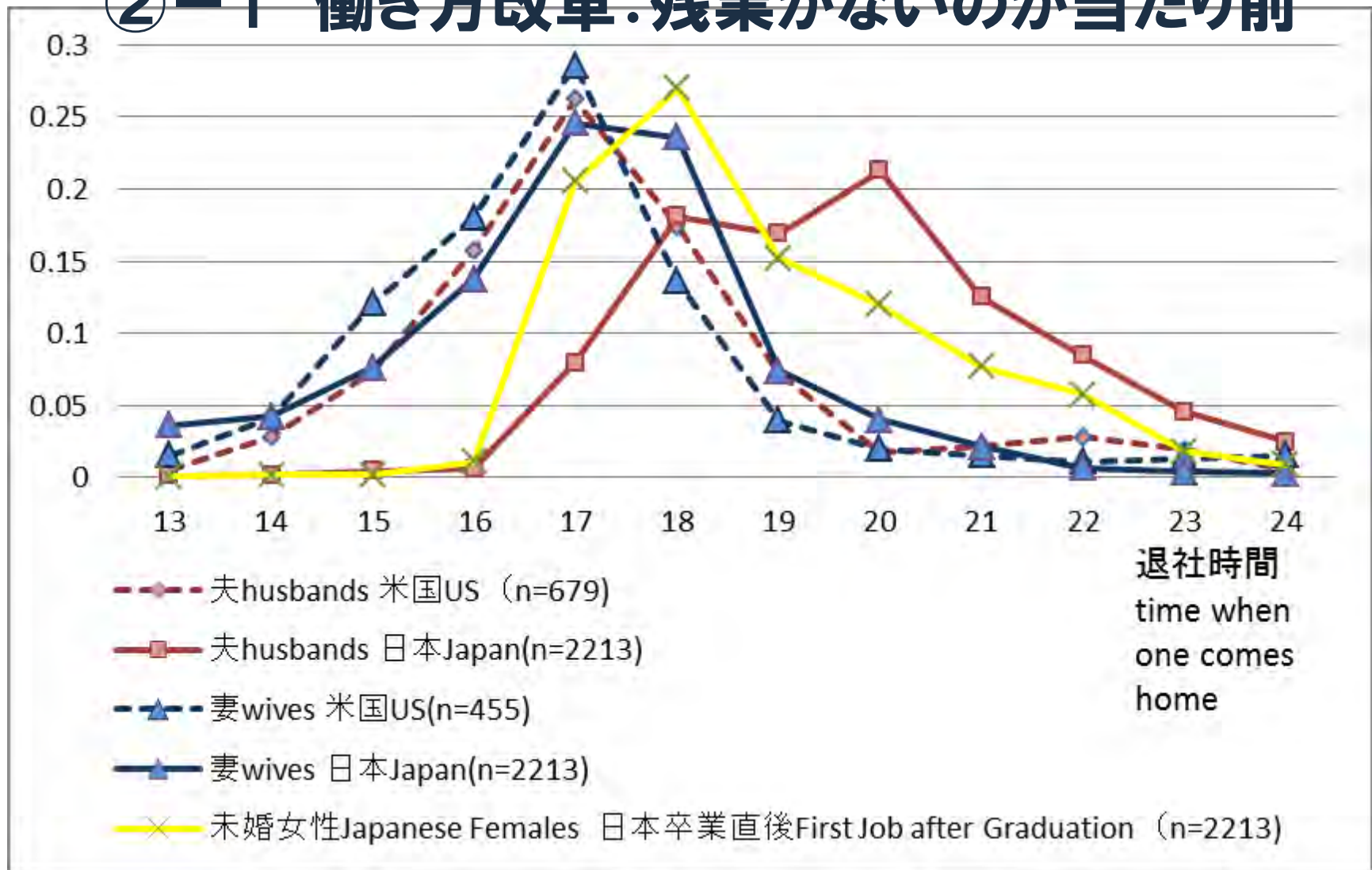
(仕事の免除) (フレキシブルな就業条件)

フレックスタイム、在宅労働

男性の仕事と育児の両立

男性が育児をになうことについての職場の理解
残業が当たり前の仕事の常識を変える

②-1 働き方改革: 残業がないのが当たり前



出所)お茶の水女子大学文部科学省委託近未来事業 WEB調査 2010年
 注)日本は首都圏、東海、北陸地方のWEB調査、米国は6大都市圏のWEB調査

②-2 働き方改革は業務改革

● 実現のための方法

- ① 一人あたりの労働時間の短縮(残業の削減など)
= **1時間あたりの労働生産性の向上**
- ② 労働の柔軟化(フレックス、在宅労働など多様な働き方)

● 働き方の見直し

- ① 業務の廃止
- ② 業務プロセスの簡素化
- ③ 仕事の配分や社員の配置の見直し
- ④ 社員の時間意識・タイムマネジメント力の強化
- ⑤ 社員一人ひとりの能力アップ(人材育成)

